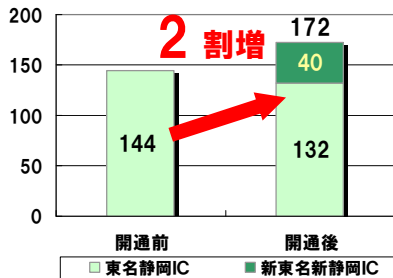


14. 高速道路へのアクセス性向上と市街地への交通分散効果

- ・ 新東名の開通に伴い、アクセス道路となる(主)山脇大谷線および静清バイパスの交通量がそれぞれ約1割増加
- ・ (主)山脇大谷線の整備によるアクセス性の向上、および静清バイパスの4車線化により静岡市街地への交通の分散

■国道1号BP4車線化と山脇大谷線による交通分散

IC利用交通量(全日)



出典：NEXCO 中日本 交通量計測データ
開通前：平成23年4月17日(日)～7月16日(土)
開通後：平成24年4月15日(日)～7月14日(土)

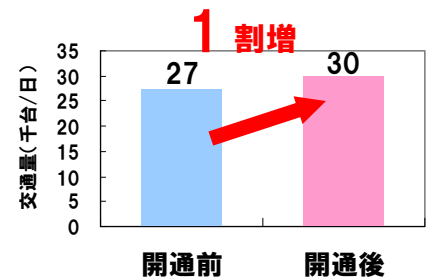
(主)山脇大谷線



至 新静岡IC

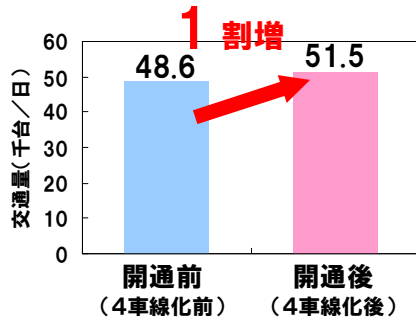
至 静岡市街地

(主)山脇大谷線交通量(平日)



出典：静岡県 交通量計測データ
開通前：平成23年11月24日(木)
開通後：平成24年5月17日(木)

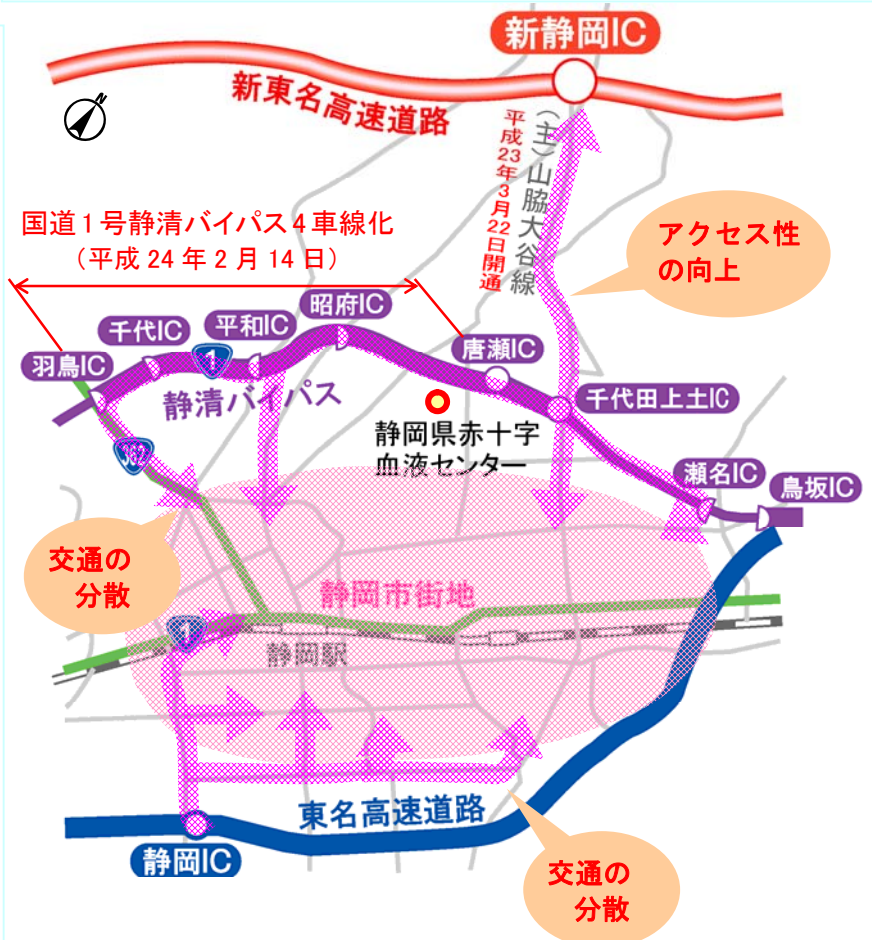
国道1号静岡バイパス交通量(平日)



出典：国土交通省 交通量計測データ
開通前：平成24年2月9日(木)
開通後：平成24年5月17日(木)



新東名開通後、
交通量は増加したが、
上下線とも渋滞解消



これまで東名静岡ICまで30分以上掛かったが
新静岡ICへは10分程度でアクセスでき非常に
助かっています。(静岡県赤十字血液センター)



出典：国土交通省ヒアリング